

7月28日(月)発行

当日の感動を  
すぐお届け!!

特別協賛: TOSHIBA

ほぼ

# 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



## 色とりどりの音色で魅了！シティ・フィル

7月27日(日) 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 撮影：青柳聡

ステージに登場しただけでフレンドリーな空気が客席にも伝わり、指揮台の上から放たれるパッションが音楽に命を与えていく。宮本文昭と東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団が登場すると、客席から「ようこそ川崎へ」という温かい拍手がわき起こり、リラックスした雰囲気の中で演奏はスタートした。

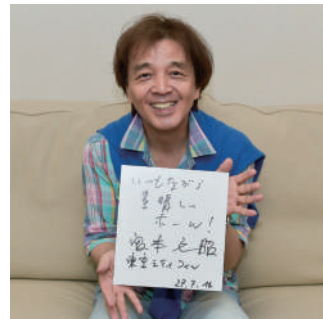
オーケストレーションの魔術師であるモーリス・ラヴェルが、カラフルな楽器を駆使して彩色した「展覧会の絵」(ムソルグスキー作曲のピアノ組曲

を管弦楽化)、そして“聴けるオーケストラの楽器カタログ”とでも言うべき「ボレロ」が披露され、このホールへ出演することが少ないシティ・フィルにとっては最高級の名刺代わりとなっただろう。多彩な楽器のソロが披露されながらも、オーケストラ全体の響きは常に威厳のある巨木を思わせ、約2年を共に歩んできた音楽監督・宮本との蜜月を感じさせる。小さな指揮台の上をフルに動き、オケの各奏者にキュー(合図)とサムアップ(=Bravo、いいね!)を出していく宮本の姿を

見て「指揮者の頭の中はどうなっているんだろうね」と驚く声も聞かれた。

2曲の間にモーツァルトのフルート協奏曲第2番を演奏したのは、フランクフルト歌劇場のオーケストラで首席奏者を務めるサラ・ルヴィオン。フレーズの隅々まで明快な彼女の演奏は、ちょっと辛口でオトナのモーツァルト像を描き出し、客席は大喝采。午前中に行われた公開リハーサルも含め、オーケストラの魅力を存分に味わえる1日となった。

音楽ライター オヤマダアツシ



### マエストロ・宮本文昭

終演後、マエストロから、「いつもながら素晴らしいホール!」とコメントをいただきました。

7/27 東京シティ・フィル

### お客様の声から♪

宮本さんの指揮は演奏者目線の名指揮!!公開リハを拝見してさらにその思いを強くしました。ブラブオー!!(55歳・講師・たみ)/シティフィルは初めて聴いたが、宮本氏のタクトを受けて大変な熱演で感激した。宮本氏の意表を付いたプレトークとステージ衣裳も新鮮でした。(59歳・団体職員・越前の手紙)/知っている曲が多くて楽しめました。公演前のふんい気も落ち着くので好きです。(12歳・中学生・大熊みちる)/バイオリンの音色がキラキラすきとおっていて、すごくきれいでした。私はバイオリンを習っているのでお手本になりました。この先もがんばってください!!(9歳・八分音符)



### 女子レポ!

女子クラ部 & 12 Violinists

### コラボ企画☆サマーミュージックを女子目線でレポート!

#### 【東京シティ・フィル】

「展覧会の絵」から「ボレロ」まで、今回のタイトル「美しく!華やかに!管楽器の祭典」そのままの大満足なラインナップ。By あやや

宮本さん、ロシア宮殿を思わせる華やかシャツでご登場!演奏後トランペット奏者に駆け寄りガッツポーズをさせる微笑ましいシーンも。By ユッキー



#### 【オルガン&ピアノ】鍵盤スペシャル!

オルガンの荘厳な音、ピアノのパワフルな音、ふたつがあわさったミステリアスな『空の迷宮』。度肝を抜かれるような迫力で、聞き応え、見応え抜群。By ピノ

「鍵盤」と一口にはいえません。パッハから『空の迷宮』まで時代を超えてつながる音楽、素晴らしい。By esu



オルガニスト 近藤岳さんと!

レビュー協力：女子クラ部 / <http://www.joshicla.com>

# オルガンとピアノ、奇跡のコラボレーション!

7月27日(日)オルガン&ピアノ♪鍵盤スペシャル



左から：菅野由弘、小川典子、松居直美、近藤岳 撮影：青柳聡

ピアニスト小川典子さんがオルガン演奏に挑戦するという注目の演奏会。1曲目は、J.S.バッハ「トッカータとフーガ」BWV565の「トッカータ」を、パイプオルガン(松居)、ポジティブオルガン(近藤)、ピアノ(小川)がフレーズごとに順に演奏するというサプライズでスタートした。

プログラムは、鍵盤楽器約600年の歴史を一晩でたどろうというもの。前半は、現存する最古のオルガンの楽譜から「エスタンピー」の古風な響きで始まり、J.S.バッハ、バッハの

息子C.P.E.バッハのオルガン曲のあと、ハイドン、ショパンのピアノ曲となり、楽器と音楽の変遷がありありとわかる興味深い選曲と演奏だった。

休憩後、いよいよドビュッシーのピアノ曲「沈める寺」をオルガンで。「オルガンは驚きの連続だった」と大変さを語る小川さんが、素足で挑んだその演奏は、実に情感豊か。「沈める寺」が、まるでオルガンのオリジナル曲のように壮麗に響いた。

続いて、「月」を描く3作品—ブクステフーデ(松居)、

ドビュッシー(小川)、ヴィエルク(近藤)—で音楽の“お月見”をしたあと、鍵盤楽器の歴史は現代にたどり着き、菅野由弘「『空の迷宮』ピアノとパイプオルガンのための」日本初演。2011年のサマーミュージックで世界初演するはずだったミュージックのための作品が、ついに披露された。オルガンの多層の響きのなかでピアノが駆け巡る、光が弾けるようなエネルギーで刺激的な曲で、終演後は大きな拍手が沸き起こった。

音楽ライター 榎原律子

7/27 鍵盤スペシャル

## お客様の声から♪

ミュージックのオルガンプログラムは、いつも工夫されていて、楽しい。小川さんのオルガン挑戦、日本初演に立ち会えて大変良かったです。来年のNoriko's Dayには、ぜひオルガンを1曲考えて下さい。(50歳・会社員・ノットさんがんばって!) /パイプオルガンが好きでこのホールに何度も足を踏んでいますが、今回のように他のホールにはない企画が好きで毎年楽しみにしています。小川さんのパイプオルガンは「オルガニスト」が奏でているように感じました。これからも期待しています。(38歳・オリエンタル支部)

## NEXT!! フェスタサマーミュージック チケット情報

◎余裕あり ○好調です △お早めに ×完売

**明日**  
7/29(火)  
読売日本交響楽団  
指揮：ダレル・アン  
15:00開演  
14:20プレコンサート  
S席/4,000円 ◎  
A席/3,000円 ○  
B席/2,000円 ◎

**明後日**  
7/30(水)  
東京都交響楽団  
指揮：エリアフ・インバル  
19:00開演  
15:30公開リハーサル  
S席/6,000円 ○  
A席/4,000円 △  
B席/3,000円 △

## 8/1(金) かわさきジュニアオーケストラ発表会

指揮：江上孝則  
14:00開演  
全席指定/1,000円 ◎  
サマーナイト・ジャズ  
Vol.4 20:00開演  
全席指定/3,500円 ○

Goods  
muza original

今年のおススメはコレ!!

2014  
new model

夏新作!

ミュージックオリジナルグッズ販売中!



- サマーミュージックチケットホルダー 640円(税込)
- トートバッグ 540円(税込)



サマーミュージックミニブックが入る! サマーミュージック期間中特設カウンターにて特別セット価格1,000円で販売中! (8月10日まで)

### 友の会キャンペーン実施中

サマーミュージック期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方に素敵な特典!  
オリジナルトートバッグorチケットホルダーいずれか1点をプレゼント!  
年会費3,000円でお得な6つの特典♪

昨日の感動を翌日お届け!!

日刊サマーミュージック  
Hobo Nikkan Summer Muza

7月27日

マイボトル持参 ぷ

このところ、暑い日々が続いてますよね。みなさまはどのような暑さ対策をされていらっしゃるのでしょうか? 私は、食事、睡眠、運動のバランスを心がけています。暑い時は温かいお茶を飲むようにしています。外は暑くても、電車の中などの室内は涼しいですよ。そうするとからだだけが冷えてしまっただけで、体調が悪くなりがちです。冷えは万病のもと! 冷え対策もしっかりとしたいものです。

さて、ホールの中には、パイプオルガンという大切な楽器があります。そのためホール内は、ある一定の温度・湿度に保たれています。開場中などは外気の影響もあつて、ホール内が暑いと感ぜられることもありますが、基本的には涼しいです。ですので、冷えが心配な方は、ミュージックにご来場いただくときには、羽織りものをお持ちいただくことをおすすめします。

また、ホール二階のドリンクコーナーでは開場中と休憩中(休憩がない場合は、開場中のみ)にあなたがかいお飲み物も取り扱っております。ぜひご利用ください。

それでは皆さま、しっかりと暑さ対策を行って、一緒にこの猛暑を乗り切ってください!!

スタッフ日記